

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和 6年 2月 28日

事業所名:あうりんこHOUSE

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|--|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | 注意書き、人的配慮、活動スペースを分ける等の対応により安全な環境設定を心掛けております。 | |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | ○ | | 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士・児童指導員など、多職種を最低基準人員を越えて常勤で配置しております。 | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | | ○ | 靴箱・棚・活動スペースなど絵カードやテープを使用して構造化を図っています。活動スペースは段差解消しており、バリアフリー化されていない箇所に関しては、引き続き人的配慮にて対応させていただいております。 | それぞれの利用者様に合わせた環境設定を検討していきます。段差やトイレなどバリアフリー化されていない箇所に関しては、引き続き人的配慮にて安全面に最大限考慮して対応させていただきます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | 温度・湿度管理を行うとともに、換気や消毒なども徹底して行っております。 | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | 活動前に全職員で活動内容の共有・注意点・環境設定についてシュミレーションを実施し、活動後には振り返りと改善に向けての対策を検討しております。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | 毎年ご家族へ事業所評価を依頼し、ご意見内容を踏まえて事業所の改善に努めております。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | 事業所自己評価・保護者評価の結果は毎年2月下旬にホームページにて公開いたしますのでご確認ください。 | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | 第三者による外部評価は現在実施しておりません。 | 今後、必要性に応じて検討致します。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | 療育・医療職の専門的視点について、事業所内研修会を定期的に開催するとともに、自己学習が可能となるよう資料提供、自己啓発研修費の会社負担等の取り組みを行っております。その他外部研修についても、積極的に参加しております。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | ご家族へのニーズ聞き取り調査と客観的アセスメントツール等を統合し、個別支援計画書を作成しております。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | 各専門職による客観的アセスメントツールを使用しております。 | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | 個別支援計画書には発達支援・家族支援・地域支援の項目に分けてニーズ・目標・支援内容等を検討し、記載しております。 | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | 個別支援計画書をもとに支援内容を検討し、支援を実施しております。また、ご家族のニーズに沿った支援の展開も行っております。 | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | 利用者様の特性や課題、ご家族のニーズに沿った支援ができるよう、全職員で検討しております。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | 個別支援では、利用者様の成長やニーズに応じて活動内容を定期的に変更致します。集団支援では、月間・週間で活動のテーマや内容を検討し、変更しております。 | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | 利用者様のニーズや状況に合わせて個別・集団枠を設定し、個別支援計画書を作成しております。 | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | 全職員で毎日活動内容を検討するとともに、集団活動ではリーダー・補助で役割分担を行っております。 | |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | 毎回時間を設定し、全職員で実施しております。支援終了後に時間が作れず実施できない日に関しては、次の日に振り替えて実施しております。 | |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | 支援終了後に記録をとっております。普段の支援・モニタリング・アセスメント時に記録に記載されている目標や様子を含め、改善に努めております。 | |
| 20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | 個別支援計画書に関してはおおよそ1か月に1回見直しを実施しております。見直しを行う際にモニタリング結果・ご家族のニーズ確認を行い、個別支援計画書へ反映しております。 | | |
| 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | 担当者会議は児童発達支援管理責任者や医療専門職を中心に参加しております。 | | |
| 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | 保健センターなど子育て支援施設と情報交換を行う等の連携を図っております。 | | |
| 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | 医療・保育所に連絡を取って情報共有を行うとともに、保育所については保育所等訪問支援にて積極的に連携を図ります。 | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|-----|---|--|
| 関係機関や保護者との連携関係 | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | ○ | | 医療的ケアが必要な方に関しては主治医より指示書をいただいております。また、定期的に利用状況を主治医へ報告させていただいております。協力医療機関との連絡体制も整えております。 | |
| | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | 保育所に関しては電話連絡や送迎時、保育所等訪問支援時に情報共有を図れています。 | |
| | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | 移行支援シート等を活用し、移行時に途切れない支援が行えるよう情報提供を行っております。 | |
| | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | 研修会や会議等の案内があった際は、積極的に参加させていただいております。 | |
| | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | 多くの方が保育所との併用利用を行っております。保育所等訪問支援により、保育所での支援も行ってまいります。 | 保育所の併用利用者様は保育所等訪問支援や情報共有により連携を図ります。保育所を利用されていない利用者様に関しては、事業所内での他児との交流も必要性に応じて実施しております。 |
| | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | | ○ | 今年度自立支援協議会への参加はありませんでした。 | 必要時においては、前向きに検討致します。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | 支援後にフィードバック・相談支援による助言を実施しております。ご家族の就労等で来所出来ない方に関しては、計画書の見直し時期に来所していただき、面談を実施しております。 | |
| | 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | ○ | | 支援後にフィードバック・相談支援による助言を実施しております。また、自宅で取り組める内容や視点をお伝えできるよう掛けております。保護者研修会については就学前教育相談申し込み時期に定期的に実施しております。それ以外の研修会については、必要性や要望に応じて前向きに検討させていただき | |
| | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 契約時に管理者より説明させていただいております。また、事業所内にも掲示しております。 | |
| | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | | 個別支援計画書作成後、ご家族へ支援内容・目標をご説明させていただき、同意を得た上で支援を実施させていただいております。 | |
| | 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | 支援中や送迎時にご家族とお話しをさせていただいております。また、状況によっては面談での相談支援も実施しております。 | |
| | 35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | | 保護者会は設定しておりません。必要性に応じて前向きに検討をすすめます。 |
| | 36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 家庭連携・関係機関連携・保育所等訪問支援・事業所内相談など、場面に応じて相談の場を設定し、幅広く対応させていただいております。 | |
| | 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 制作活動内容や行事内容など、書面・案内板にて広報しております。また、今年度よりLINEの活用を開始し、連絡手段の拡大を実施いたしました。 | |
| | 38 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | | 個人情報記載された書類については鍵付きの棚で保管しており、職員以外は触れられない位置に設定しております。また、ご契約時にご説明させていただいた個人情報使用同意書に沿った取扱いをさせていただいております。 | |
| | 39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 利用者様の機能を医療専門職が評価を行い、利用者様が最大限発揮できるコミュニケーション手段を検討し、実施しております。 | |
| 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | | 地域に幅広く開かれた事業所運営はまだ行えていません。今年度の取り組みとして、事業所の夏祭りについて、当事業所の卒業された方も一緒に参加する場を設定することができました。 | |
| 非常時等の対応 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | | 緊急時対応につきましては、ご契約時にご説明させていただき、事業所内に各種マニュアルを掲示しております。職員については周知するとともに役割設定も行い、定期的に訓練を実施しております。 | |
| | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 年2回程度の非常災害時訓練を実施しております。 | |
| | 43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | | 管理者・看護師を中心に、全職員へ情報共有を行っております。 | |
| | 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | アレルギーの確認を契約時に行わせていただいております。 | |
| | 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | 当法人内の全事業所で事例の共有を行っております。 | |
| | 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 虐待についての理解を深めるため、年1回以上の研修を実施し、虐待防止・廃止に向けて事業所全体で取り組んでおります。 | |
| | 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | | 職員研修や会議を行い、事業所全体で身体拘束禁止に向けて取り組んでおります。身体拘束が必要な方に関してはご家族へ理由・方法・期間を提示し、同意を得た上で実施するとともに、個別支援計画書へ明記いたします。 | |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)